

# 扇山望み涼む夏 令和6年度 山の納涼音頭大会



発行責任所  
別府市自衛隊協力会  
印刷 (株)電子印刷センター

## 令和6年度 山の納涼音頭大会

別府駐屯地は、令和6年8月4日(日)、近傍自治会及び別府市観光協会並びに別府市自衛隊協力会の3団体と共催のもと、令和6年度山の納涼音頭大会を開催した。山の納涼音頭大会の前座にあたる「音楽祭り」では、第41普通科連隊音楽部、湯布院駐屯地音楽部及び第40普通科連隊音楽部の合同で、夏祭りにマッチした音楽を演奏した。また、昨年に続いて参加となったフラハラウ・オ・ハルによるフラダンス、タヒチアンダンスが披露され、華やかな幕開けとなった。

音楽祭りに続き、開会式が行われ、実行委員長である別府駐屯地業務隊長 北平 栄二 2等陸佐の開会宣言により、ファンファーレとともに山の納涼音頭大会が開催された。続いて、駐屯地司令である小林 直基 1等陸佐と、実相寺自治会長 宮崎眞行氏によるそれぞれの挨拶が行われた後、衆議院議員 岩屋毅氏と別府市自衛隊協力会会長 長野恭紘氏より、来賓者代表のご祝辞をいただいた。その後、自治会約550名が別府太鼓連と豊秀会のお囃子にあわせ、涼やかな音色と歌声で前段踊りが開催された。続いて、毎年恒例となった駐屯地隊員6個チームによる創作踊りでは、工夫を凝らした衣装や個性あふれるダンスを披露し、観客の子ども達も一緒に踊る場面も見えた。

終盤となる総踊りでは、自治会の方々と自衛隊員とともに参加し、「別府音頭」と「ヤッチキ」をお囃子にのせ、笑顔あふれる総踊りとなった。ファイナーレとなる花火では、打ち上げ場所も駐屯地内とのこともあり、間近で打ちあがるダイナミックな花火に、観客も感嘆の声が漏れていた。

今年度よりキッチンカーも出店し、屋台出店数も例年の3倍以上となり、祭りならではの賑わいを感じた。地域の皆様と親睦を深めることのできた今回の祭りは、約3,350名の来場者となり、昨年を上回る大盛況となった。



挨拶を述べる小林司令



音楽演奏



笑顔あふれる総踊り



隊員創作踊り



ファイナーレの打ち上げ花火

## 令和6年度 新隊員特技課程教育

連隊は、令和6年7月5日(金)から同年9月13日(金)までの間、令和6年度一般曹候補生課程(後期)及び新隊員特技課程教育を実施した。本教育は、普通科部隊の火器である機関銃や対戦車火器、迫撃砲などの専門的な知識を学び、各火器の射撃訓練等を経て、技能を修得することを目的として行われた。新隊員は、普通科部隊として強靱な近接戦闘に耐えうるべく、猛暑の中、厳しい訓練に耐え、体力と気力を身に付けてきた。戦闘訓練では、各人に与えられた任務を全うし、相互連携して、部隊の目標奪取という任務を完遂するとともに、徒歩行進訓練においては、重い荷物を背負いながら、夜間から明け方にわたるまで眠気と疲労に耐え、完歩した。

修了式では、執行官である第41普通科連隊長 小林 直基 1等陸佐が「いよいよ、それぞれの部隊に配置され、新たな一歩を踏み出すことになるが本課程をやり遂げた自信を持って、部隊に行っても頑張ってもらいたい」と式辞を述べた。今回、成績優秀につき連隊長賞を受賞した、長谷部太智 2等陸士は「この教育で学んだことを忘れずに日々勉強、日々成長を目標に頑張っていきます」と決意を新たに示した。



表彰を受ける長谷部2士



砲手訓練(120mm迫撃砲)



戦闘訓練(軽火器)



戦闘訓練(81mm迫撃砲)



徒歩行進訓練

# 令和6年度 米海兵隊との実動訓練 (レゾリュート・ドラゴン24)

連隊は、熊本県大矢野原演習場において、米海兵隊との実動訓練を実施した。訓練に先立ち、安全ブリーフィングを実施し、日米間の認識を合わせ、安全管理事項の徹底を図った。訓練の前段では、各兵器・部隊毎に機能別訓練を実施し、成果を積み上げて、相互理解・練度向上を図った。訓練の集大成として、一連の状況下による日米共同戦闘射撃を実施し、各級指揮官は状況判断を的確に実施し、日米間における緻密な調整のもと、共同対処能力の向上を図る事が出来た。今後も様々な訓練を通じて、戦闘力を組織化し、新しい戦い方に対応できる部隊へと邁進していく。



# 令和6年度 師団迫撃砲競技会

連隊は、令和6年9月9日(月)から13日(金)までの間、令和6年度師団迫撃砲競技会に第3中隊迫撃砲小隊と重迫撃砲中隊が参加をした。大会に先立ち、同年9月3日(火)には壮行会が行われ、第41普通科連隊OB会会長伊藤輝信氏と別府地区隊友会会長大隈亮氏より、激励の言葉をいただいた。

部隊は、綿密な事前準備を行うとともに、安全管理態勢を万全にして、各級指揮官の的確な指揮のもと、競技会に臨んだ。小隊及び中隊が一丸となり、気迫に満ちた号令と的確な操作で射撃を行い、任務を全うした。惜しくも優勝には至らなかったが、日頃の訓練を遺憾なく発揮することができた。引き続き連隊は練成を継続して、練度向上を目指していく。



# 活躍する 女性 自衛官

別府駐屯地内で様々な業務で活躍する女性自衛官。今回は産前産後休暇を経て復帰した隊員と、これから産前産後休暇を取得する2名の隊員にお話を聞きました。



**3等陸曹 吉永 あやの**  
第41普通科連隊本部管理中隊の衛生小隊に所属。現在妊娠中であり、主に事務職を行っている。夫も同じ自衛官であり、生まれてくる子どもを楽しみに過ごしている。夢は「子供と手を繋いで海外旅行」。



**2等陸曹 鹿出 朱音**  
第41普通科連隊本部管理中隊の衛生小隊に所属。育児休業を取得後、職場復帰した。最近2歳になる息子の成長の早さに驚きつつも、明るく楽しく毎日を送っている。今の目標は「かみこぎ」になること。

**Q1** お二人は本部管理中隊の衛生小隊の所属ですが、どのような業務をおこなっていますか？

現在別府駐屯地の医務室で、歯科助手や診療補助をしています。  
私についても同じく別府駐屯地の医務室で勤務をしています。普段は衛生隊員として訓練等に参加していますが、妊娠中ということで勤務を配慮してもらい、室内の事務職メインで業務をおこなっています。  
復帰の時の面談時に、上司から少しづつ慣らしていけるようにと、事務職から始め、課後は育児に専念できるように勤務配慮していただきました。  
上司もどっぴり風な勤務配慮していただければいいかと、様々な方面に意見を聞いていた事実を知り、あたたかい気持ちになりました。

**Q2** 家庭と仕事の両立は大変ですが、周りのサポートはいかがでしたか？

夫婦ともに自衛官で、両親も遠方のため、職場のサポートがとても手厚く感じます。突発的な休みも快諾してもらえ、雰囲気なので、とてもいい環境だと思います。また、育児等に関して相談できる先輩が身近にいて、とても頼もしく感じます。  
悪阻等で体調が優れない時があったのですが、同じ自衛官である夫が、家事を完璧にこなしてサポートしてくれました。  
同じ職場の鹿出2曹が、体調等をこまめに気にかけてくれます。さすが先輩だなあと感じました。  
私自身も家庭と仕事について、様々な不安を持ちましたが、先輩女性自衛官にたくさん相談していました。また、教育等で携わった女性自衛官が全国各地にいるのですが、その女性自衛官達が私の相談相手だったりします。女性自衛官の結束力・ネットワークはすごいです！  
私の駐屯地が勤務先から少し遠かったのですが、それを見た職場の方が、上司に掛け合い、勤務場所の近くにマタニティ駐屯地を設置していただくなどの配慮もあり、とても感謝しています。

**Q3** 最後にこれからの目標をお願いします。

私が自衛隊に入隊してこれまでターニングポイントとなる隊員がいたのですが、その人のおかげで、自衛官として人として成長することができました。  
そんなキッカケになれるような人になっていきたいなと思います。  
まずは、おなかの赤ちゃんのために健康第一を目標にしています！  
そして「人のために何かをしてあげたい」という気持ちで、学生時代には、国内外でボランティア活動してきました。「人のために」という気持ちで入隊した自衛隊の仕事に誇りを持ってこれからはがんばっていきます。

# 別府駐屯地 創立六十七周年記念行事 告知

## 別府駐屯地 創立六十七周年記念行事

日時 令和六年十一月二十四日  
駐屯地開放 午前9時～午後3時

場所 別府駐屯地  
催し物 観閲式／訓練展示／音楽演奏  
装備品展示／体験試乗  
こども広場

お問い合わせ先 別府駐屯地広報班  
☎0977-2214311  
内線(219-229)

# 連隊離着任部隊長紹介

本部管理中隊

重迫撃砲中隊

## 離任 部隊長



## 着任 部隊長



### 別府駐屯地業務隊

### 禁煙外来の開設



禁煙外来の様子

業務隊衛生科（医務室）では、令和6年4月より、禁煙外来を開設した。禁煙のメリットは健康面、経済面、社会活動面において枚挙にいとまがない。これまで禁煙に挑戦してきた喫煙者も多いと思料されるが、個人の意思で禁煙が難しいのは、長年の喫煙習慣にともなう「ニコチン依存症」という疾病の為である。そこで、医務室では医師の診察ののち、ニコチンパッチの処方を受け、体内にニコチンを補充しながら喫煙行動を抑制する身体的サポート及び認知行動療法など心理的サポートも行っており、卒煙者も続々と輩出中である。

医務室では、あらゆる角度から隊員の健康増進を全力でサポートしていく。



笑顔の卒煙者

### 自衛隊大分地方協力本部 大分地域援護センター 令和6年度大分県任期制隊員合同企業説明会



面談による企業説明

大分地域援護センターは、令和6年8月29日（木）、レンブラントホテル大分にて、令和6年度大分県任期制隊員合同企業説明会を実施し、任期制隊員10名、研修者の9名が参加した。

当日は、台風10号が接近する悪天候の中での開催となり、参加予定37社中、20社が不参加となる中、6社が急遽Web面談に切替え、対応いただいた。

参加者は開催に先立ち、一般企業に就職した3名のOB隊員の講話を聴講し、年齢の近い元隊員の話を興味津々に聞き入っていた。

その後、午前・午後及びフリータイムを入れ、計6回の面談に参加し、自身が興味ある企業の業務内容等について、終始熱心に質問を繰り返し情報収集していた。

今後、隊員と企業のマッチングを経て、就職を希望する企業との面接に向け業務を実施していきますので、ご協力お願いします。



WEB面談による企業説明

### 第404会計隊

### 第33代 第404会計隊長 着任式

会計隊は、令和6年8月2日（金）に、第33代第404会計隊長、西宮祥伍3等陸佐の着任式を西部方面会計隊長の立会のもと挙行了した。

統率方針として「任務に立ち返る」とし、訓示では「会計科の使命に我々は、予算・経理その他の会計活動に任じ、作戦目的達成のため、各部隊を支援しなければならない」とあるが、実行できているだろうか。我々は今一度、任務に立ち返り、戦勝に寄与し、部隊の血肉となる会計科支援を行わなければならない」と述べた。また、要望事項として、幹部には「脳みそに汗をかけ」、准曹士には「自主積極」、全員に対し「融和団結」を掲げた。

新体制となる会計隊は、西宮新隊長を核心として今まで以上に各部隊のために尽力していく。



着任行事



記念撮影

### 第3普通科直接支援中隊

### 米海兵隊との実動訓練



車両の回収作業

第3普通科直接支援中隊は、大矢野演習場で実施された日米共同訓練に整備員6名が参加をした。本訓練では、第41普通科連隊の整備支援を実施し、装備品の高可動率の維持に貢献することができた。

また、米海兵隊と共同で、部隊としては初の通訳を交えた回収訓練を実施した。この際、回収要領が上手く伝わらず、通常よりも時間は要したが、とても良い経験となった。これを機に、第3普通科直接支援中隊として支援業務は当然のこと、機会を捉えて語学向上にも努めていき、多種多様な支援任務に対応できるがごとく、各種能力の向上を図る。



車両の整備・点検

### 第134地区警務隊 別府派遣隊

### 警務隊の活動状況

警務隊は、令和6年7月22日（月）から同年8月18日（日）の間、夏季防犯活動強化旬間として活動した。今回の重視事項は窃盗犯罪の防止、性的犯罪の防止の2点に追加で、飲酒関連犯罪の防止を掲げ、各部隊等に対して防犯資料の配布、防犯巡視及び防犯助言を行い防犯意識の高揚に努め、各部隊の協力により事件等もなかったことから、今後も部隊の協力を得て実施していきたい。

また、同年8月25日（日）巡回演奏会に伴う要人警護を実施した。部外施設での警護となることから、事前の徹底した施設確認から不測事態発生時の対処要領を検討し、万全な態勢で警護を実施し任務を完遂した。



防犯活動の状況

### 第304基地通信中隊 別府派遣隊

### 派遣隊長交代

別府派遣隊は派遣隊長の交代に伴い、令和6年7月30日（火）に、川添佑樹2等陸尉の離任式を、同年8月2日（金）に、島津浩二2等陸尉の着任式を行った。

川添2尉在任中は、要望事項「居敬窮理」を掲げ、隊員に「日々の振る舞いを慎み、広く物事の道理を究めて正しい知識を得る」ことを常に指導し、部隊効率化に向けて効果的な業務運営を行うための職場環境の構築にご尽力いただいた。

8月からは、第28代派遣隊長 島津2尉を核心とし、要望事項「つなぐ」を具現すべく、全隊員が改めて通信科隊員として最新の通信技術を習得し、駐（分）屯地所在部隊のニーズに即応できる体制を維持できるように任務に邁進する所存である。



川添派遣隊長離任式



島津派遣隊長着任式

別府駐屯地 X (Twitter) X 更新中!! 陸上自衛隊別府駐屯地(公式) フォロー

